



2018年3月期 決算説明会

株式会社 マキタ
取締役社長 後藤 宗利

1



2018年3月期 連結業績

前期比

売 上 高	4,773億円	+ 15.0%
国内売上	826億円	+ 11.0%
海外売上	3,947億円	+ 15.9%

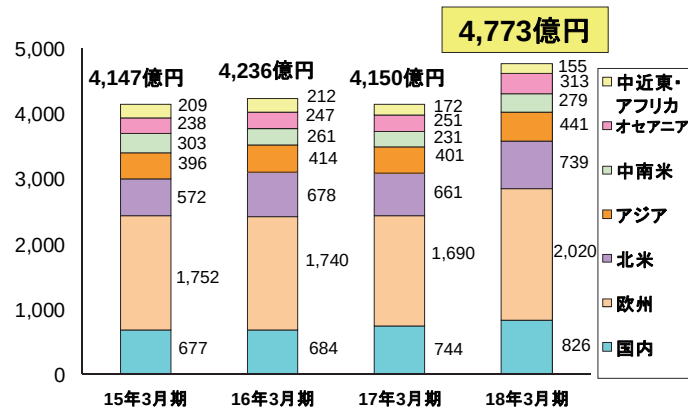
海外比率 82.7% (前期 82.1%)

2



地域別売上高(通期推移)

億円



3



為替レートの実績

	17年3月期	18年3月期	
米ドル	¥ 108.34	¥ 110.85	2.3%の円安
ユーロ	¥ 118.74	¥ 129.66	9.2%の円安
人民元	¥ 16.10	¥ 16.74	4.0%の円安

全通貨の加重平均で**5.8%の円安**

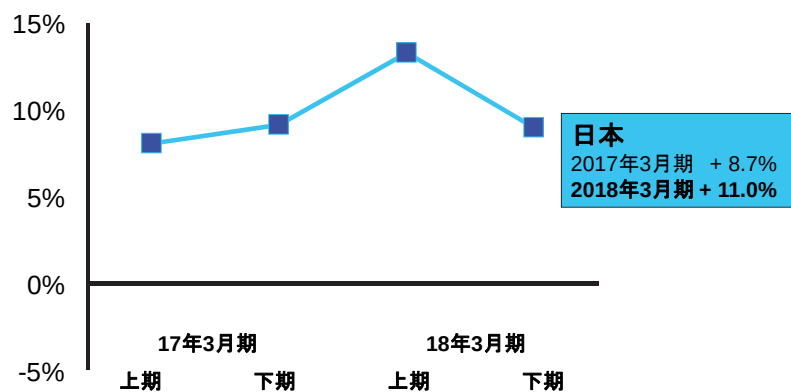
売上高の**増加額 218億円**

4

現地通貨ベース売上動向



日 本



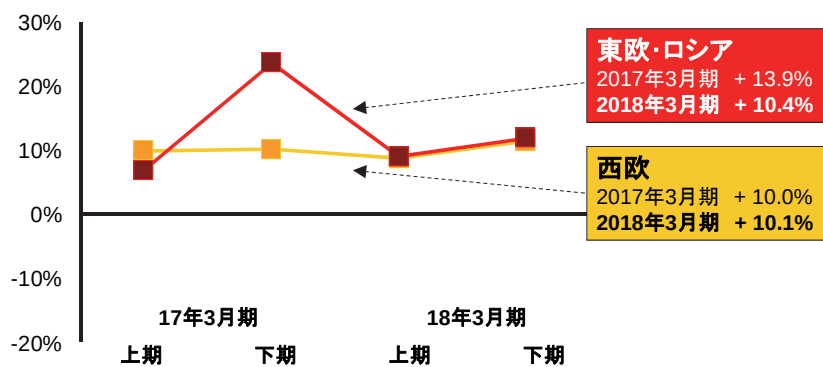
5

現地通貨ベース売上動向



欧 州

前期比伸び率 + 10.2%

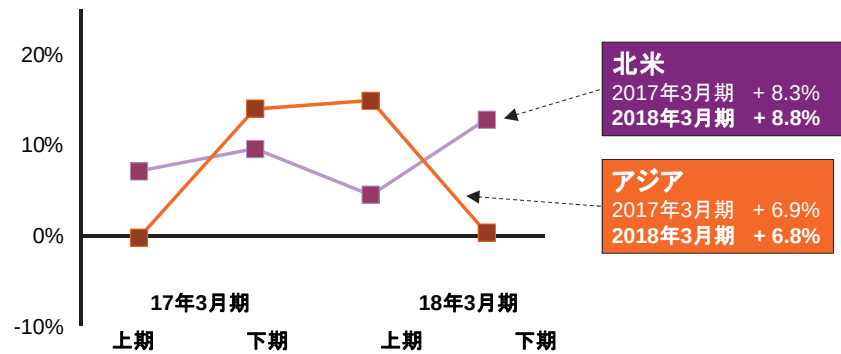


6

現地通貨ベース売上動向



北米・アジア

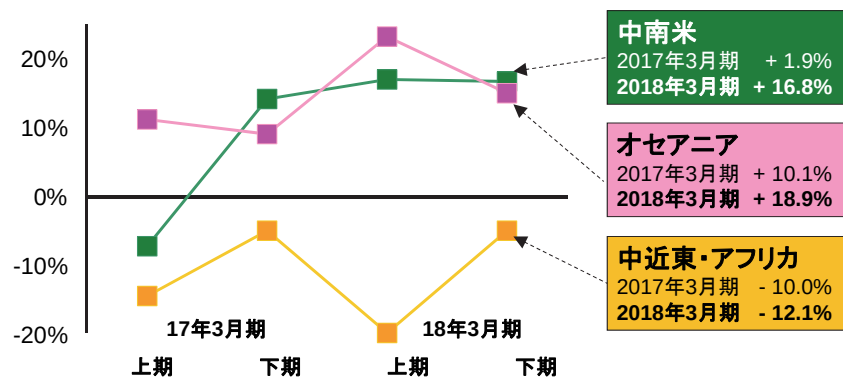


7

現地通貨ベース売上動向



その他地域 (中南米、オセアニア、中近東・アフリカ)



8

リチウムイオンバッテリー製品 園芸用機器(OPE)



当期の新製品の一例



リチウムイオンバッテリー製品

「世界最強」
充電式ハンマドリル



「業界初の無線運動集じん」
充電式集じん機



「使いやすさの頂点へ」
充電式インパクトドライバ



「最高の軽さと使用感」
充電式ヘッジトリマ

OPE製品

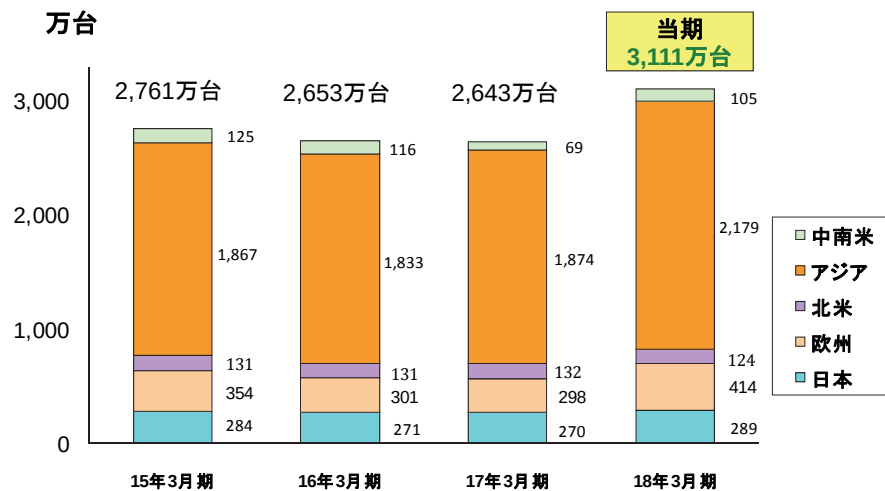
「レッドボディ新登場」
充電式チェーンソー



「軽量ボディで手軽に草刈り」
充電式草刈機

9

地域別生産台数



10

棚卸資産(在庫)



2017年3月末 1,674億円

2018年3月末 1,962億円

288億円増加

(内訳: 実在庫 242億円増加
為替の影響 46億円増加)

11

営業利益・売上原価・販管費



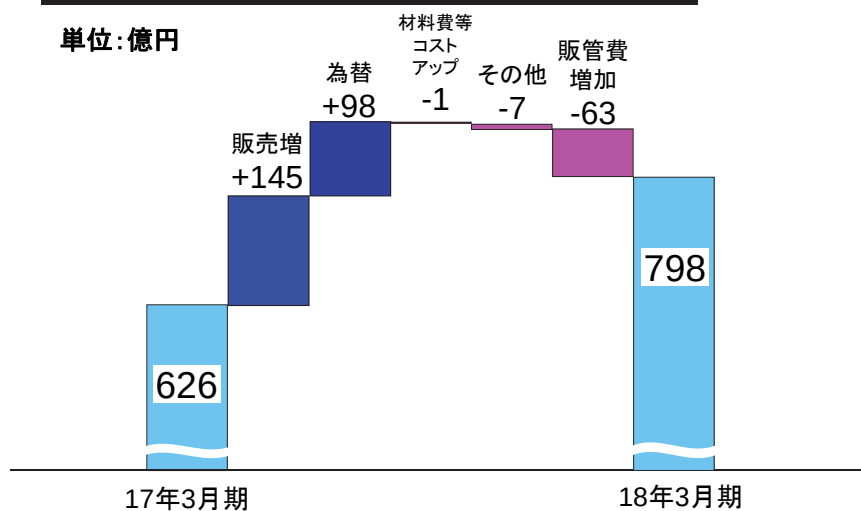
	17年3月期	18年3月期	前期比
売上高	4,150億円	4,773億円	+ 15.0%
売上原価	2,675億円	3,022億円	+ 13.0%
売上原価率	64.5%	63.3%	
販管費	849億円	953億円	+ 12.3%
販管費率	20.4%	20.0%	
営業利益	626億円	798億円	+ 27.5%
営業利益率	15.1%	16.7%	1.6ポイント上昇

12

営業利益増減要因



単位: 億円



13

営業外損益・税引前利益・当期純利益



	17年3月期	18年3月期	前期比
営業外損益	22億円	△1億円	△23億円
税引前利益	647億円	797億円	+ 23.1%
当社株主に帰属する 当期純利益	448億円	548億円	+ 22.3%
EPS	164.96円	201.70円	+ 22.3%
ROE	9.1%	10.4%	1.3ポイント上昇

(注) 2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。17年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定してEPSを算定しております。

14

マキタの取り組み



- ① 充電式製品群の拡充
- ② エンジンから充電へ
- ③ 顧客サービスの強化

15

マキタの取り組み

① 充電式製品群の拡充



大型工具のコードレス化



AC



DC

16

マキタの取り組み
①充電式製品群の拡充



小型・軽量製品群



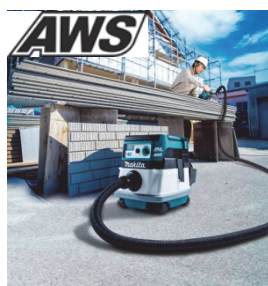
CXTシリーズの拡充

17

マキタの取り組み
①充電式製品群の拡充



集じん関連製品



Bluetoothによる工具と
の無線連動集じんシス
テム(業界初)



背負い式クリーナ
ロボットクリーナ

18

マキタの取り組み
①充電式製品群の拡充



現場快適製品群



現場のニーズに応える
新製品

19

マキタの取り組み
②エンジンから充電へ



充電式園芸用機器(OPE)事業の強化



20

マキタの取り組み
②エンジンから充電へ



充電式OPE 国内外での販促活動



21

マキタの取り組み
②エンジンから充電へ



充電式OPE 展望・課題



- 中型を超える(30mL～)エンジン式製品並みの性能
- 製品レンジの拡大
- 人材の確保・育成
- 倉庫の拡張

22

マキタの取り組み
②エンジンから充電へ



充電式OPE 新製品



MUC254D

- 軽量 & 高回転
- 23mL エンジン式と同等の使用感

23

マキタの取り組み
③顧客サービスの強化



24

マキタの取り組み
③販売・サービス拠点の拡充



地域・現場・顧客に密着した営業体制の整備

倉庫面積の拡張
物流機能の強化

デモルーム
研修設備の充実

修理体制の強化

当期開設した拠点



25

2019年3月期 売上収益予想



前期比

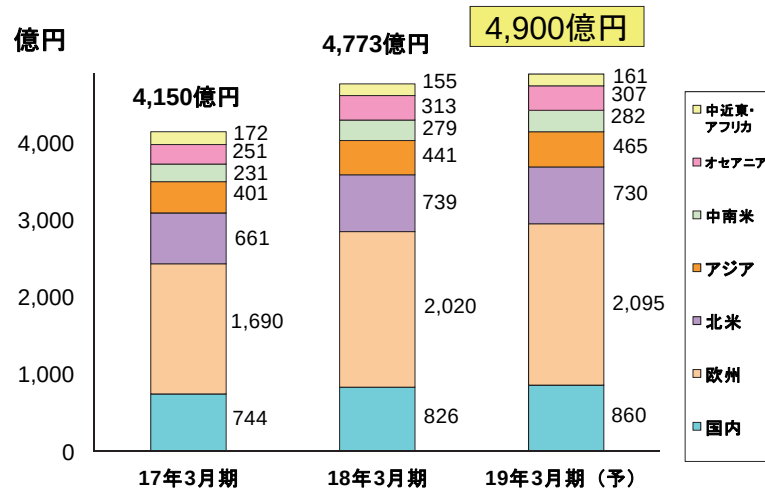
売上収益	4,900億円	+ 2.7%
国内売上	860億円	+ 4.1%
海外売上	4,040億円	+ 2.4%
海外比率 82.4% (18/3 82.7%)		

想定為替レート

米ドル	ユーロ	ユーロ／ドル	人民元
105円	130円	1.24	16.8円

26

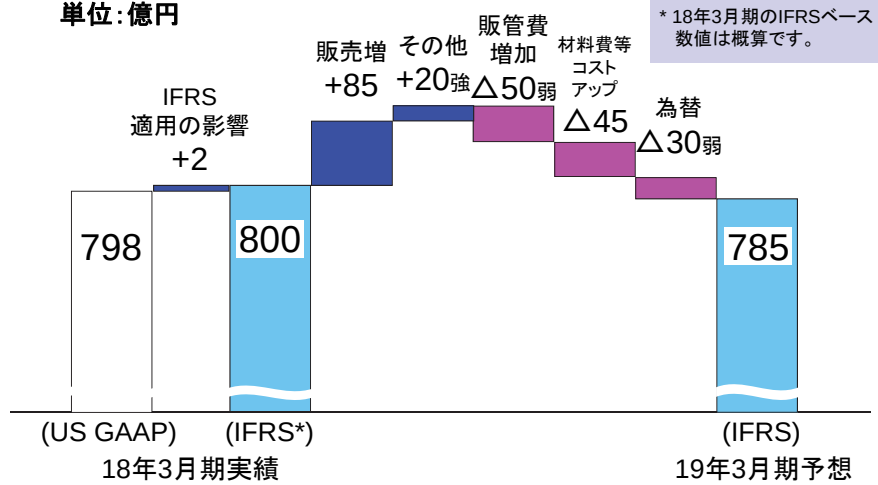
地域別売上予想



営業利益(予想)増減要因



単位: 億円



28

2019年3月期 通期業績予想

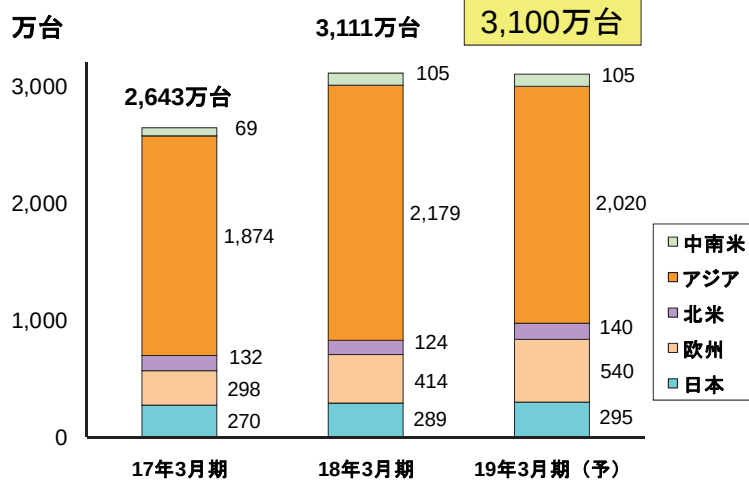


	18年3月期 (US GAAP)	18年3月期 (IFRS)*	19年3月期 (IFRS)	前期比
売上収益	4,773億円	4,773億円	4,900億円	+ 2.7%
営業利益	798億円	800億円	785億円	- 1.9%
税引前利益	797億円	800億円	787億円	- 1.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	548億円	550億円	548億円	- 0.4%
EPS	201.70円	202.60円	201.87円	- 0.4%
ROE	10.4%	10.4%	9.9%	0.5p低下

* 18年3月期のIFRSベース数値は概算です。

29

生産計画



30

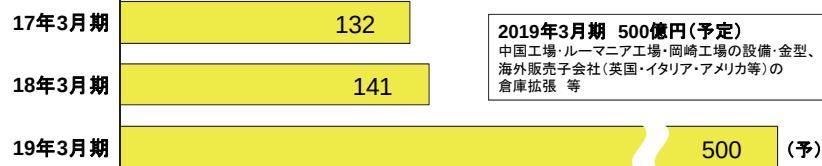
設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資

単位: 億円

通期

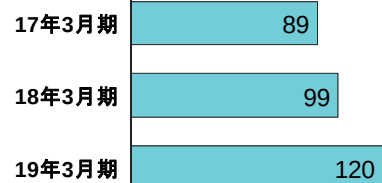


2019年3月期 500億円(予定)
中国工場・ルーマニア工場・岡崎工場の設備・金型、
海外販売子会社(英国・イタリア・アメリカ等)の
倉庫拡張 等

減価償却費

単位: 億円

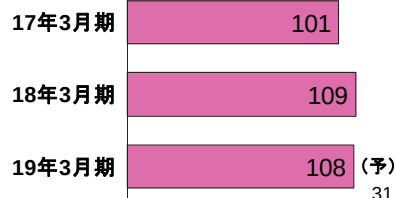
通期



研究開発費

単位: 億円

通期



31

配当



基本方針	連結配当性向 30%以上	
	18年3月期	19年3月期
当社株主に帰属する当期純利益	548億円	548億円(予)
EPS	201.70円	201.87円(予)
特殊要因 (税引後)	—	—
1株当たり年間配当金	61円	未定(注)
中間配当	10円	10円
期末配当	51円	未定(注)
配当性向	30.2%	30%以上

(注)2019年4月開催予定の取締役会で連結配当性向30%以上となる配当案を決定。

32



ここで記載されている見通しは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

<http://www.makita.co.jp/>